

令和6年度 管内景気動向調査報告

【第2四半期：令和6年7月～9月】

高山西商工会
経営発達支援事業

調査概要

調査目的:管内小規模事業者の景気動向等を収集・周知することで、地域経済の動向把握並びに将来予測、それらを踏まえた事業活動に役立てていただく。

調査対象:高山西商工会管内の小規模事業者 15事業者

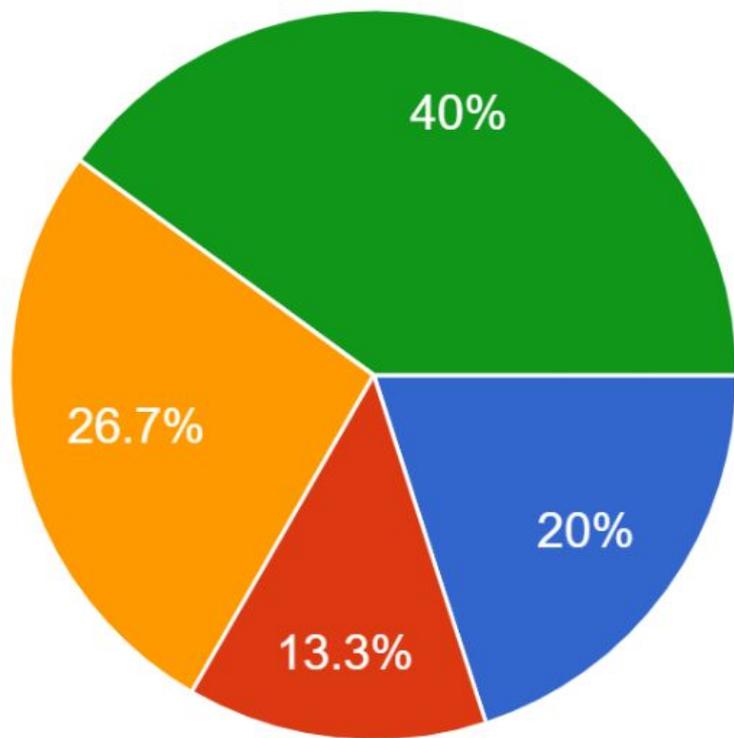
【内訳】製造業:3、建設業:2、小売業:4、サービス業:6

調査時期:令和6年9月下旬～令和6年10月中旬

調査方法:調査票を用いての聞き取り等

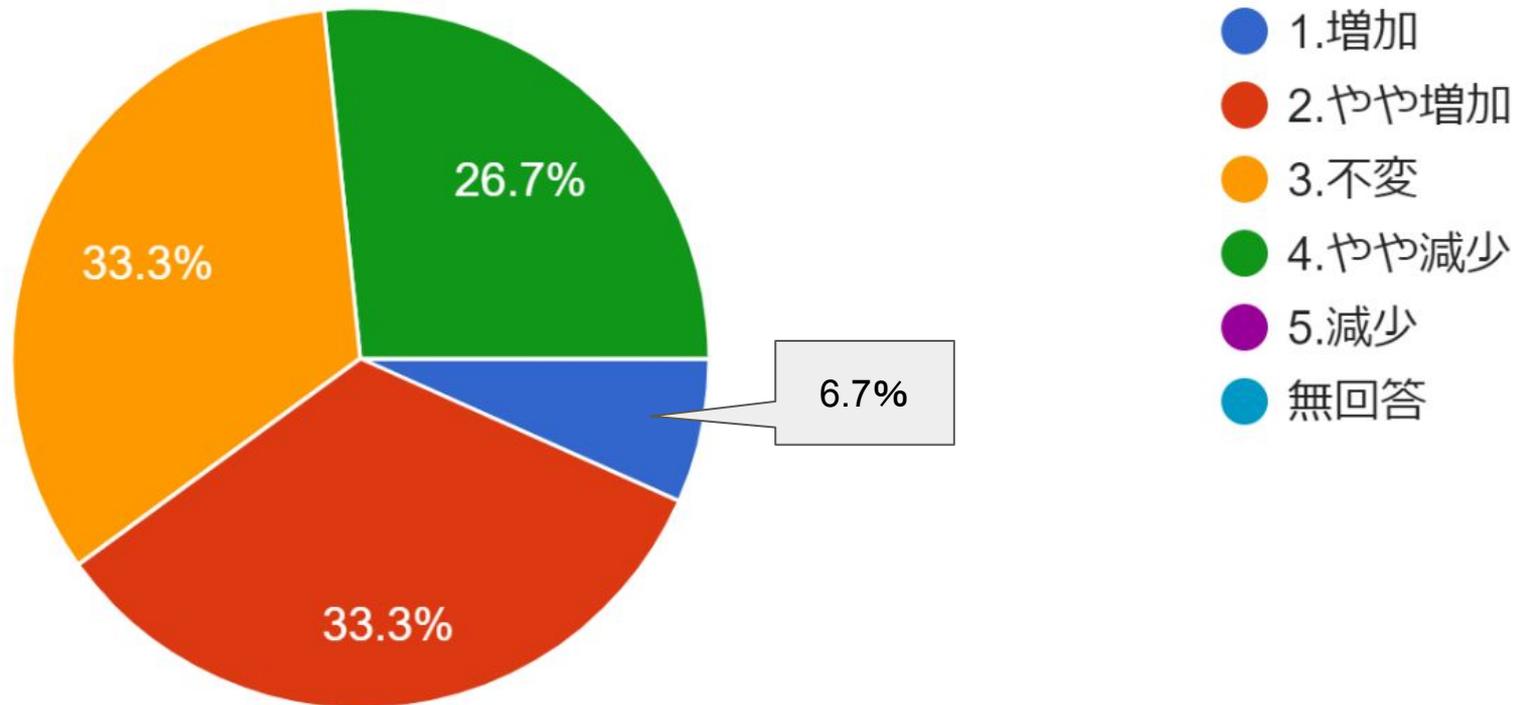
調査内容:売上高、仕入単価、客単価、客数、採算、資金繰り、従業員数、業界の景気状況、設備投資の有無 等

業種

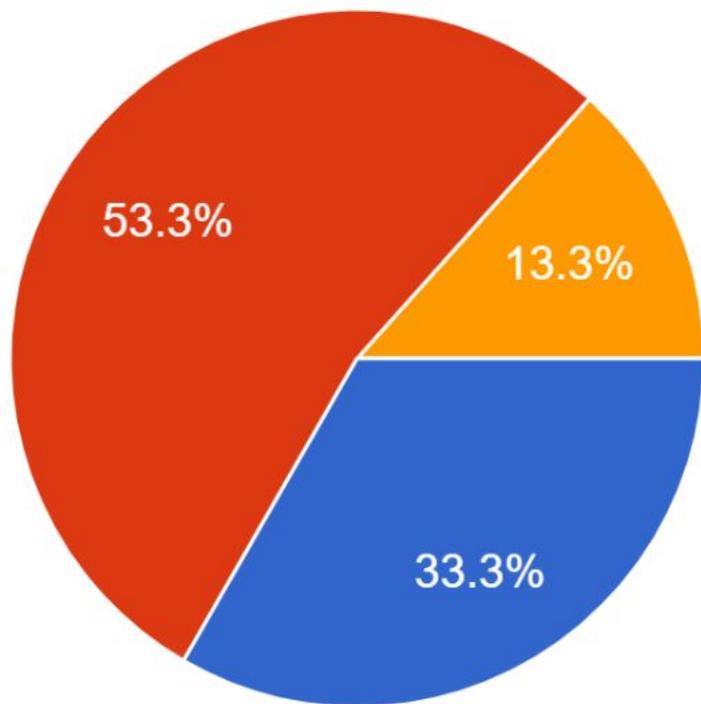


製造業	3
建設業	2
小売・卸売業	4
サービス業	6

売上高：前年同時期（R5年7～9月）と比べて

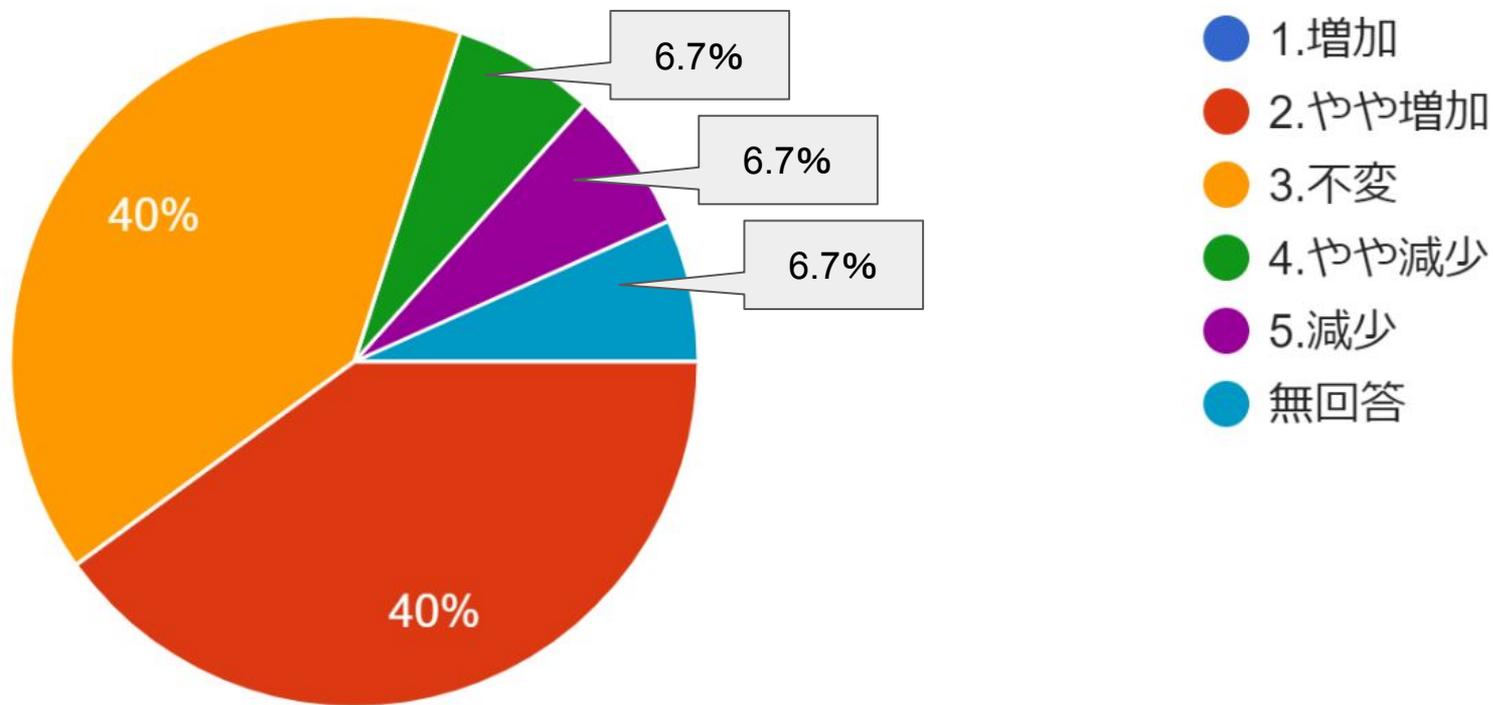


仕入単価：前年同時期（R5年7～9月）と比べて

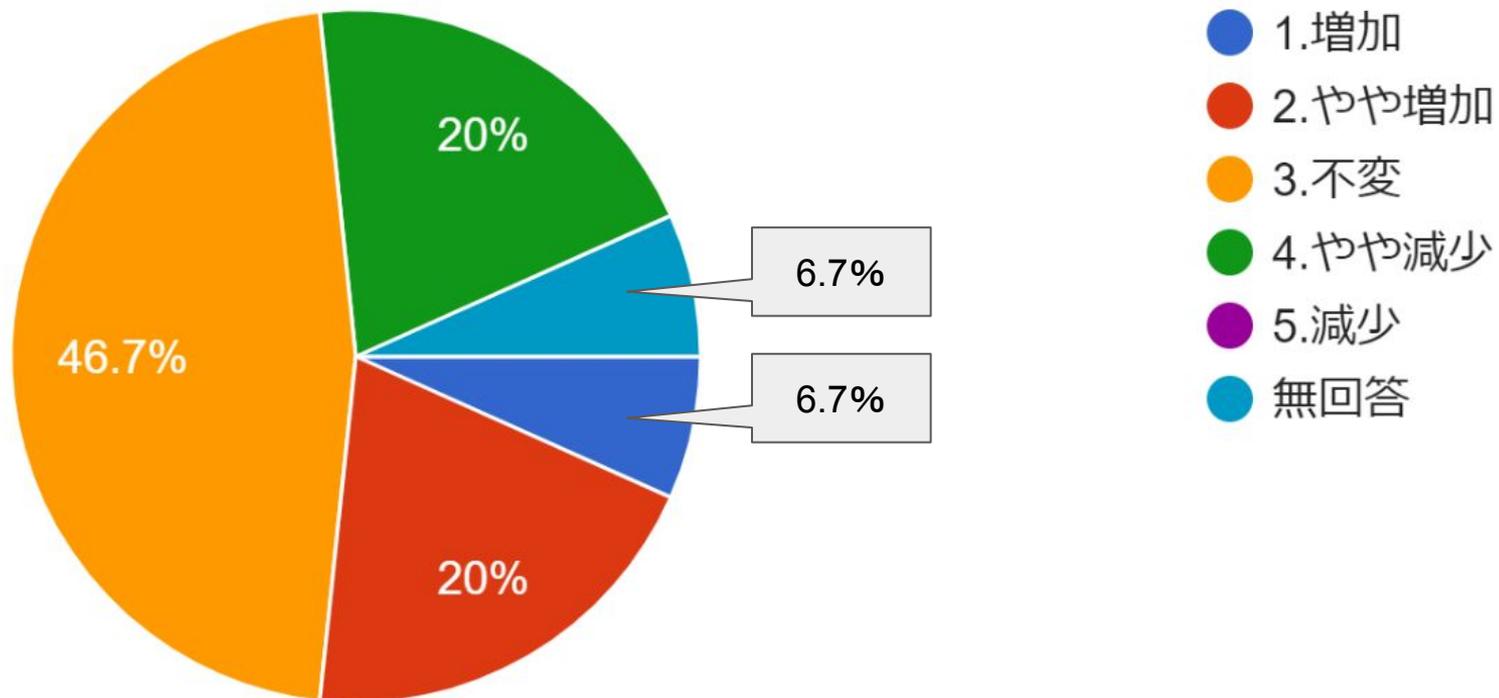


- 1. 増加
- 2. やや増加
- 3. 不変
- 4. やや減少
- 5. 減少
- 無回答

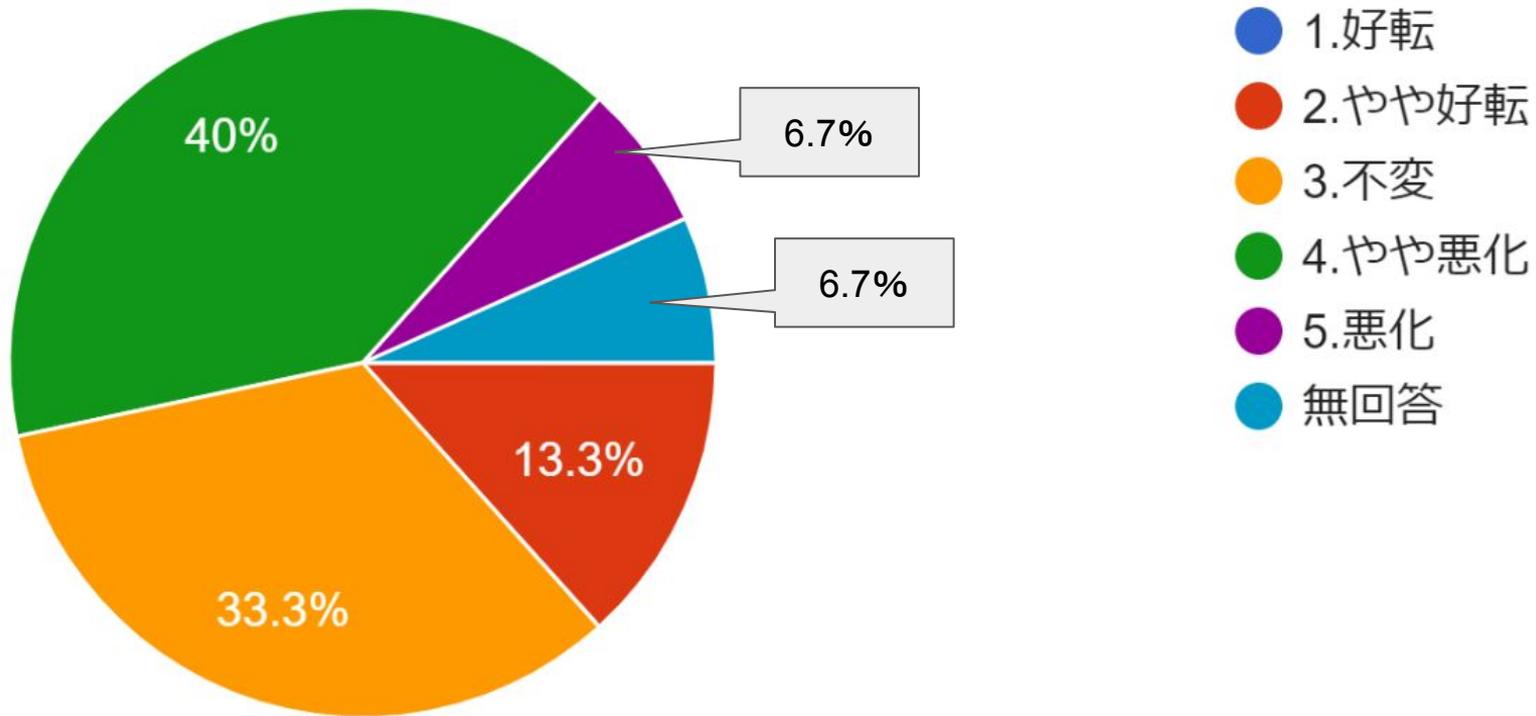
客単価：前年同時期（R5年7～9月）と比べて



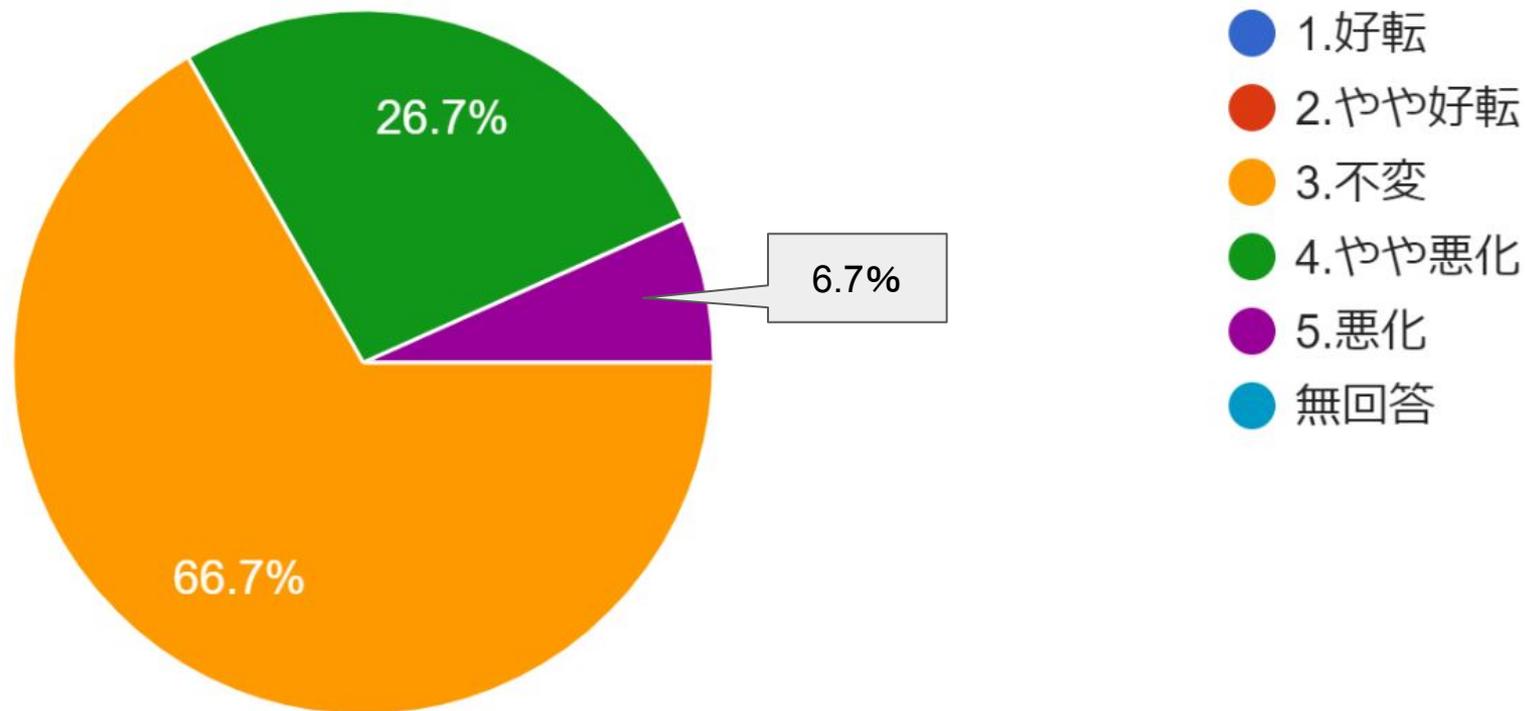
客数：前年同時期（R5年7～9月）と比べて



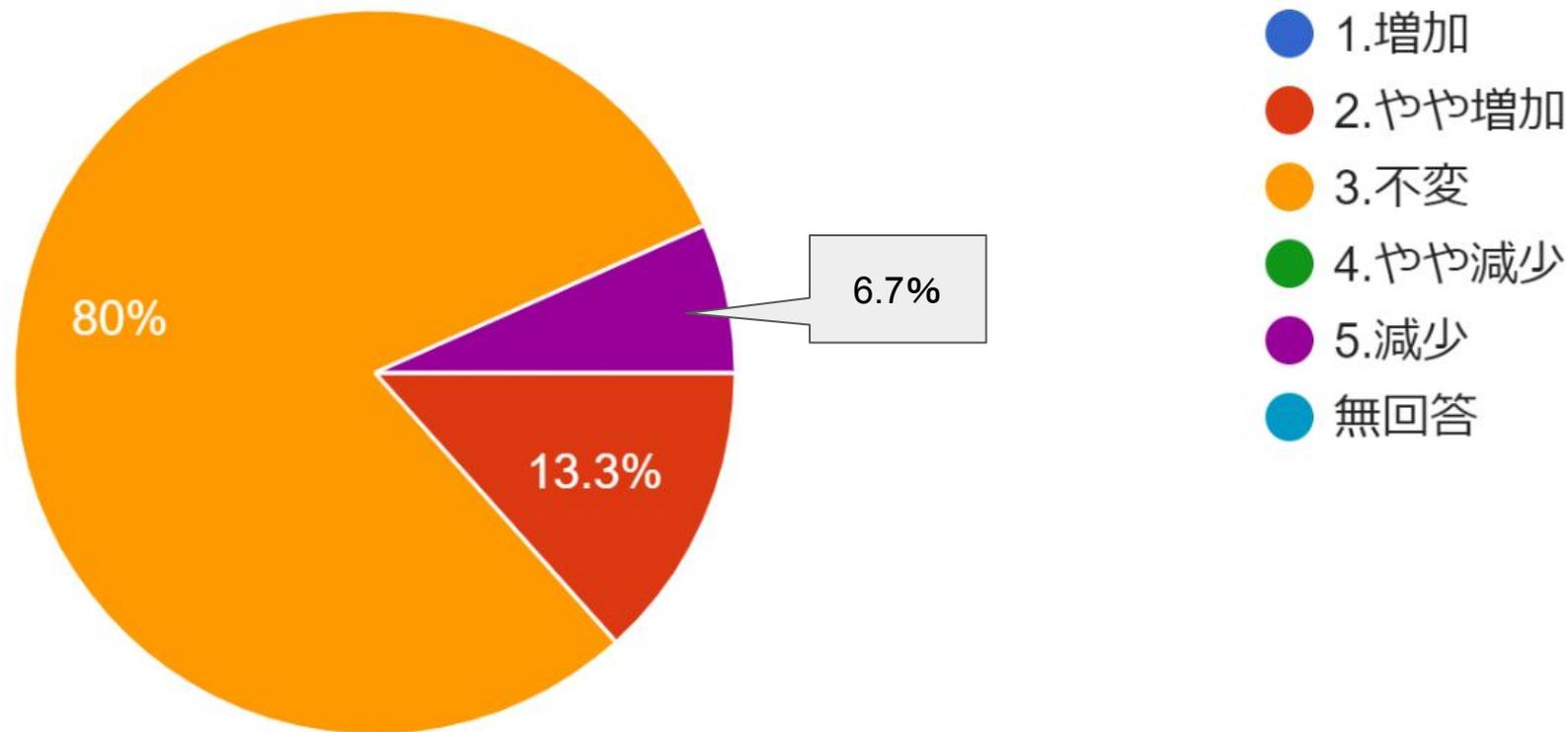
採算：前年同時期（R5年7～9月）と比べて



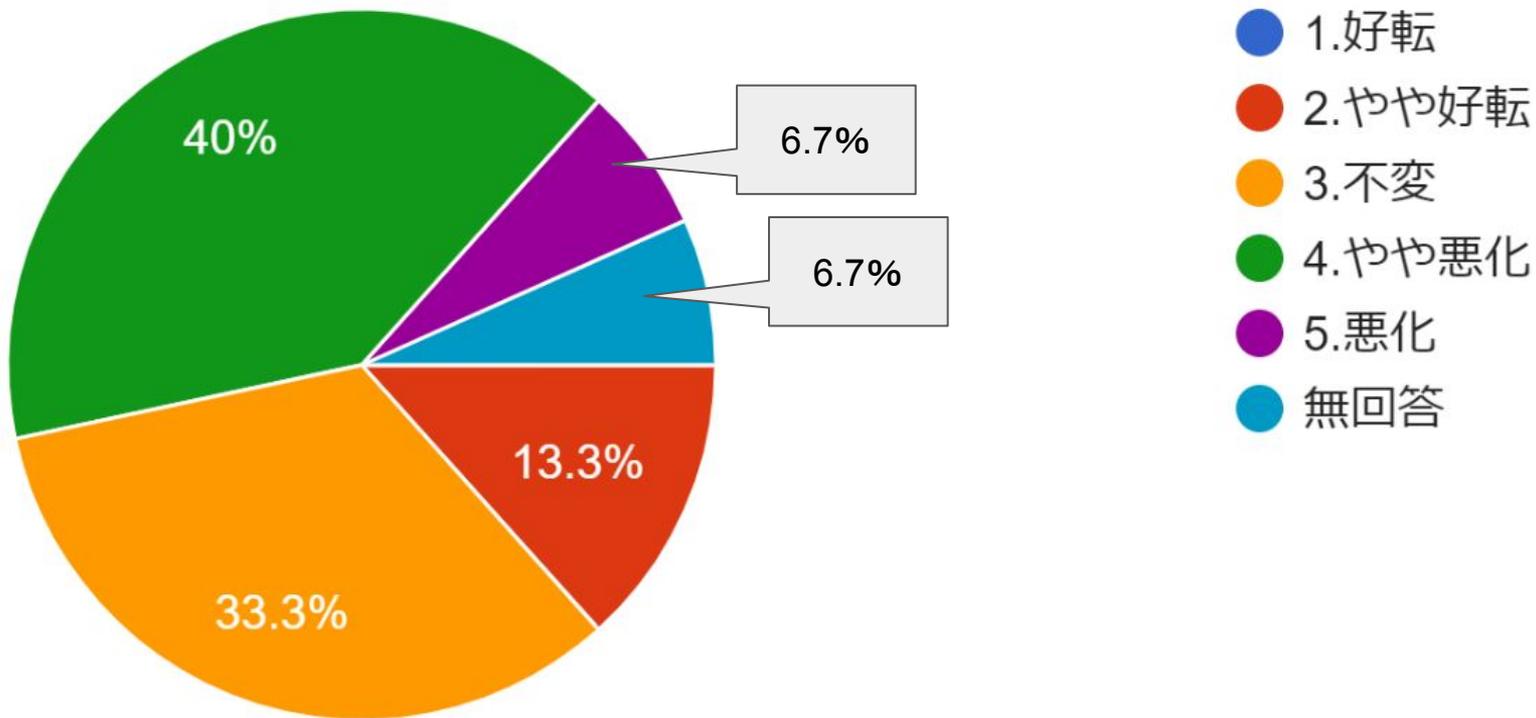
資金繰り: 前年同時期 (R5年7~9月) と比べて



従業員数：前年同時期（R5年7～9月）と比べて



業界の景気状況：前年同時期（R5年7～9月）と比べて



景気判断の背景についてのコメント

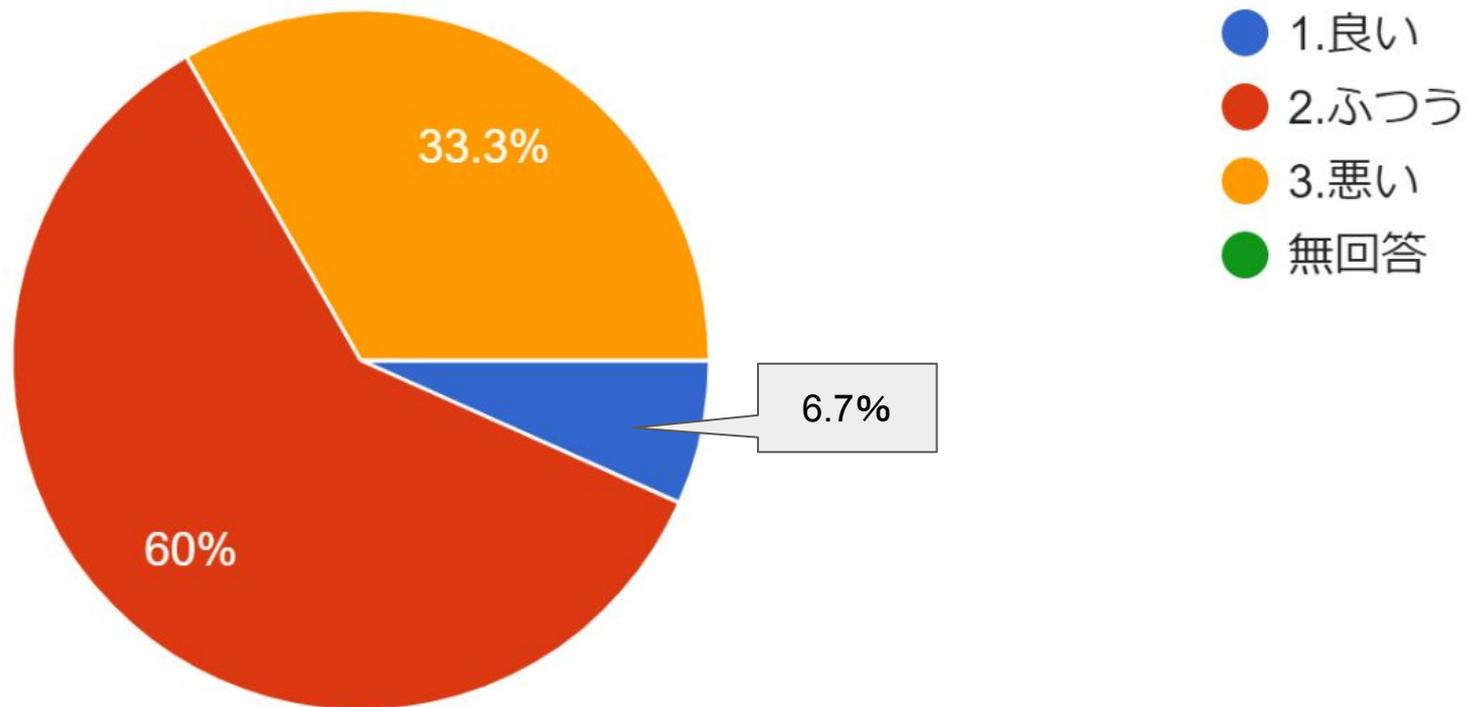
【好転傾向】

- 販売する物の単価が下がった分、来客が増え売上も上がったが、その分仕入も増えているため、採算が良くなるよう工夫が必要だと思う。(木製品製造業)

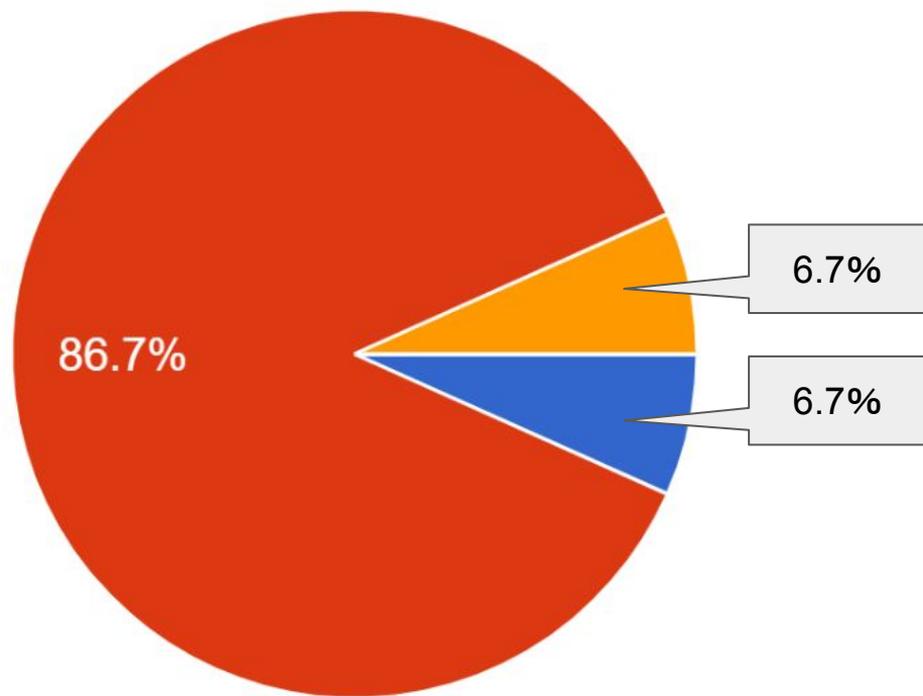
【悪化傾向】

- 6・7月の稼働率は高い水準だったが、8・9月は少し落ち着き、9月末に決算を迎えた。業界全体として変わらず鈍化傾向。得意分野を掘り下げたい。(建設業)
- 昨年と比べ売上の変化はないが、今期も物価高騰により材料費等の原価が上昇しており、十分に価格転嫁できていないため、利益増加につながっていない。(木製品製造業)
- 注文数はそこそこあるが、こなせる仕事量に限りがある。単価が少し上がった。(木製品製造業)
- 8・9月は売上・客数ともに減少。9月は例祭のため支出先が大手に行ったのではないか。(食品小売業)
- 仕入価格や光熱費(特に灯油と電気)の値上がりはひどく、旧高山市並みに宿泊料金を上げたいができない。仕入金額を抑えれば抑えるほど支払う消費税が多くなる。消費税の納税額を抑えるために設備投資をしたいが、支払うお金がない。一部地域には外国人が来て潤っているかもしれないが、その他の地域はそうではないように思う。景気はそれほど良くないのでは。(宿泊サービス業)
- 食材・資材等が値上がりしているので、適正な販売価格を見極めたい。(飲食サービス業)

今期(R6年7~9月)の景気状況

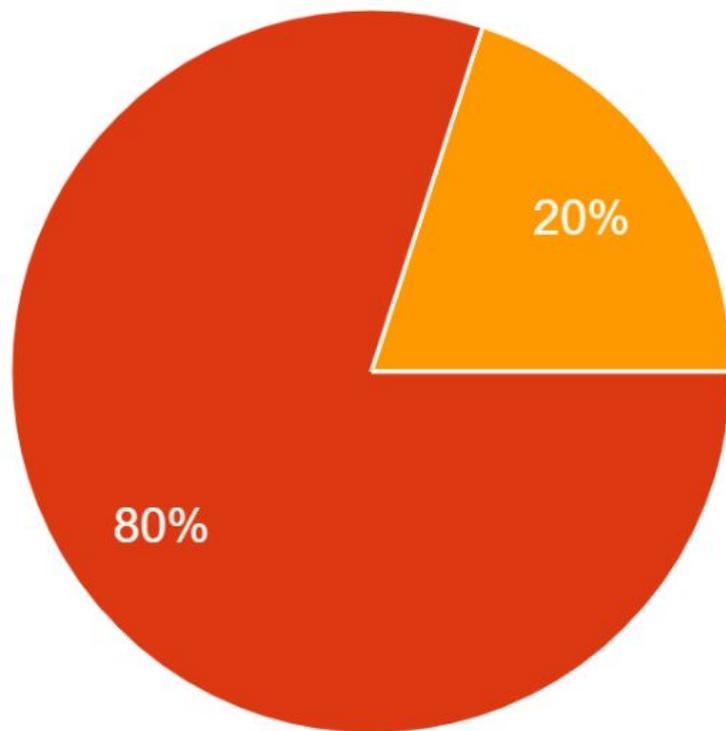


今期(R6年7～9月)の採算(利益)



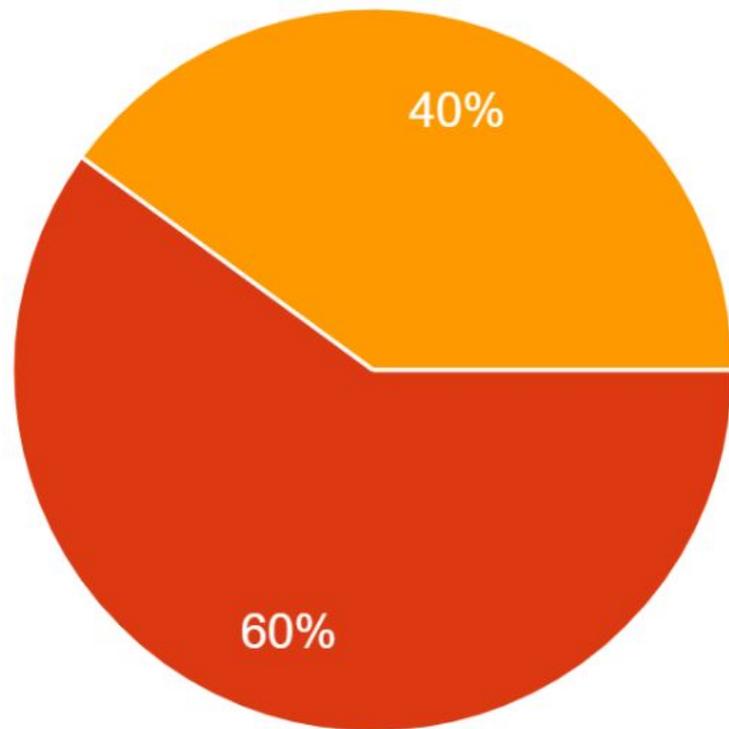
- 1.黒字
- 2.収支トントン
- 3.赤字
- 無回答

今期(R6年7~9月)の従業員数



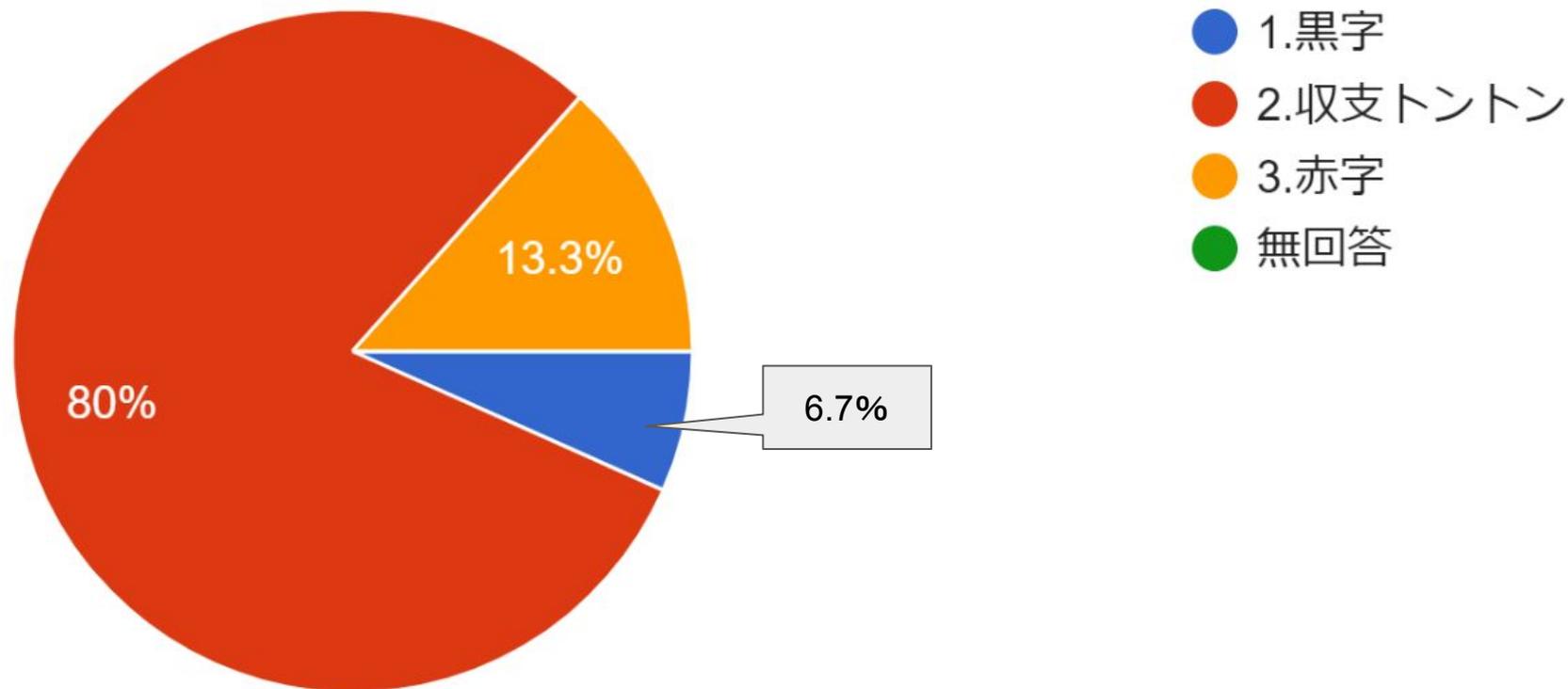
- 1. 過剰
- 2. 適正
- 3. 不足
- 無回答

景気状況：来期（R6年10～12月）の見通し

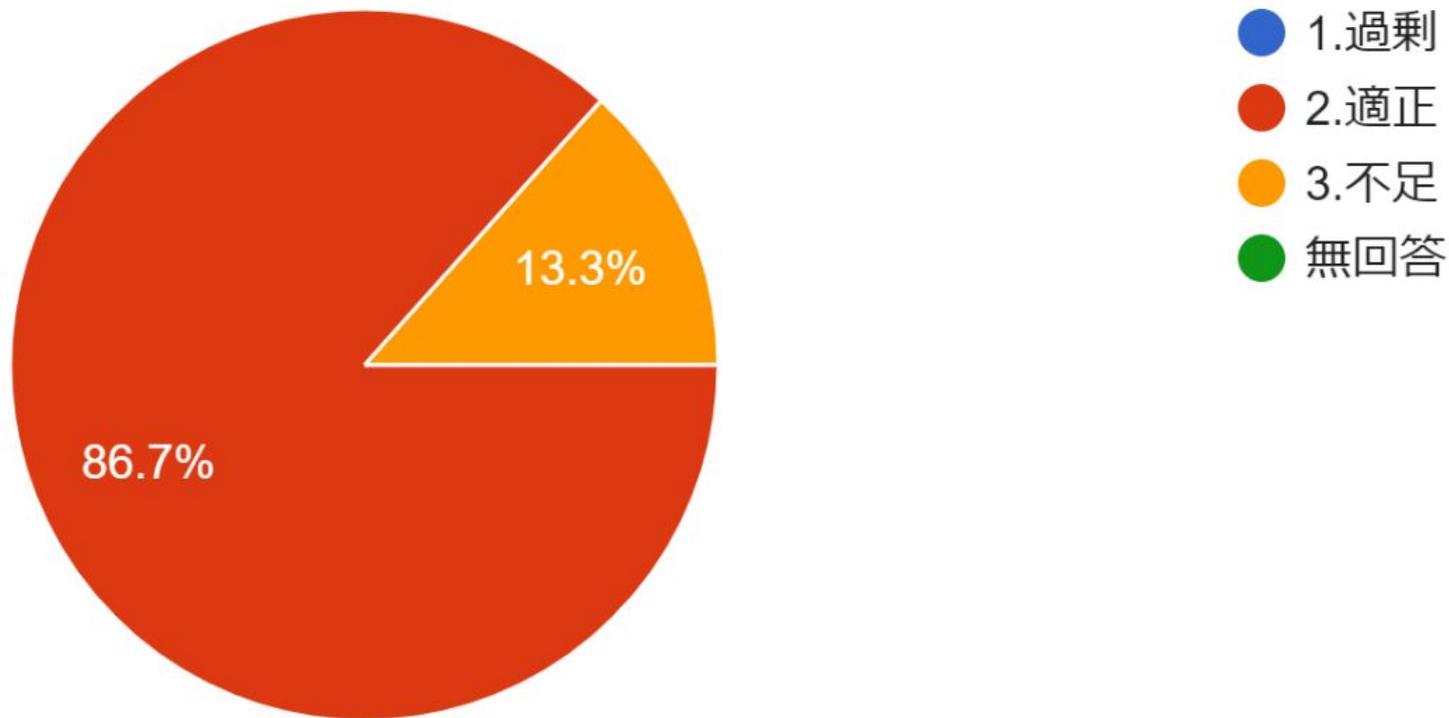


- 1.良い
- 2.ふつう
- 3.悪い
- 無回答

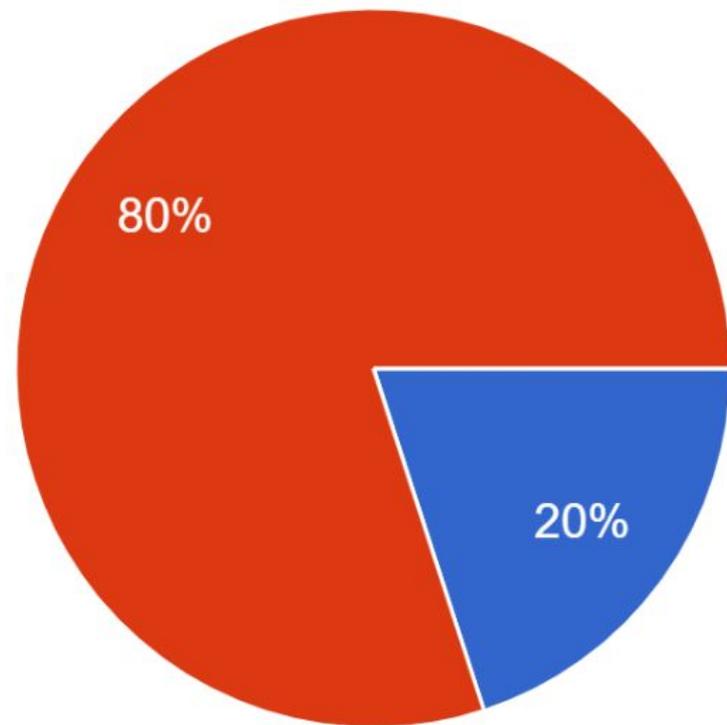
採算(利益): 来期(R6年10~12月)の見通し



従業員数: 来期(R6年10~12月)の見通し



今期(R6年7～9月)の設備投資の有無

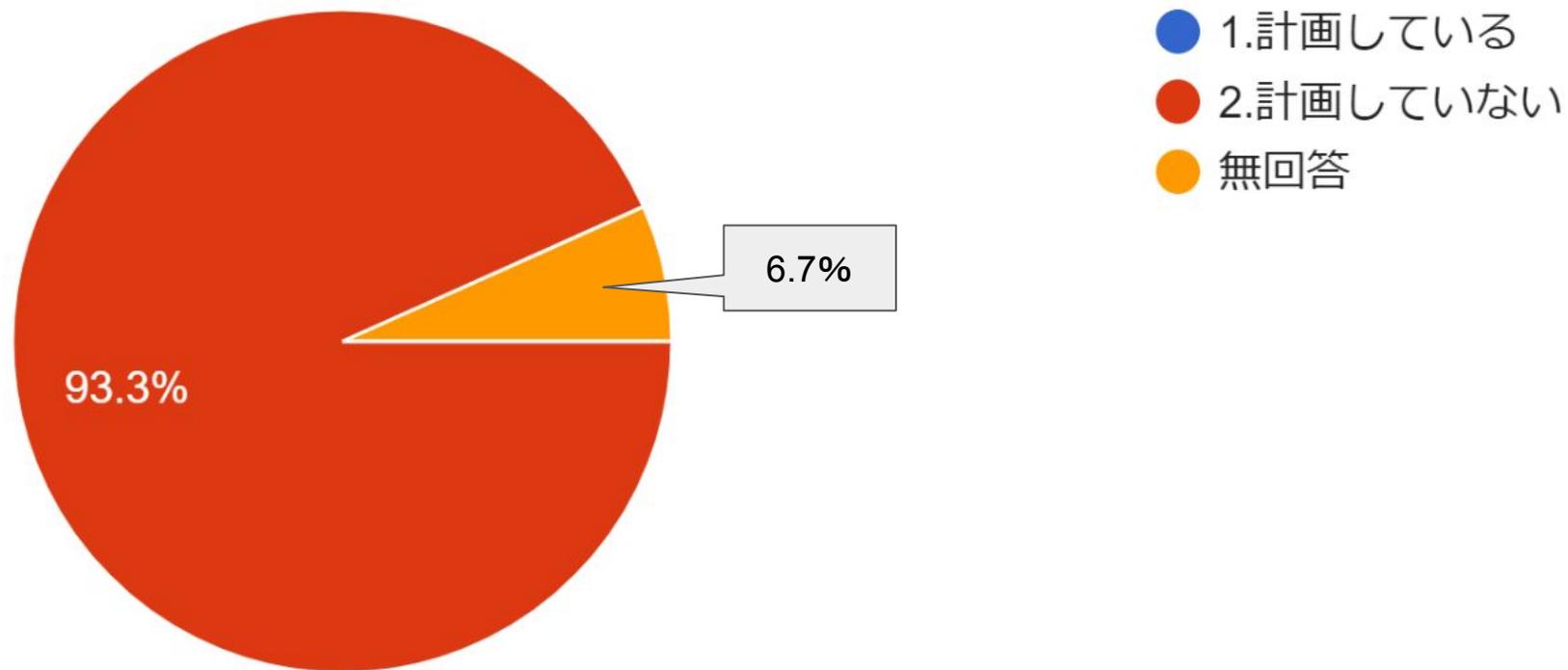


- 1. 実施した
- 2. 実施していない
- 無回答

今期(R6年7～9月)実施した設備投資の内容

- 工場水回りリフォーム工事(建設業)
- 冷蔵庫(飲食サービス業)

来期(R6年10～12月)の設備投資の計画の有無



来期(R6年10～12月)に計画している設備投資の内容

なし

自由記入欄へのコメント

- 8月に東京都内で開催された展示会に参加した。展示会自体の集客は多かったようだが、売上は伸びなかった。委託販売で売上を伸ばす良い策があれば知りたい。(木製品製造業)
- 最低賃金の引上げは、当宿のような小規模事業者には大変。設備も老朽化しているため、設備の買い替えや維持管理もかなりの負担。コロナ禍に融資を受けているため、その返済等でやめるにやめれない。SNS等の情報発信も年齢的に難しいため、この状況をどう脱却していいかわからない。(宿泊サービス業)